

所属・資格 史学科・教授

申請者氏名 浜田 晋介

研究課題		福島県相馬横穴群の基礎的研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	昭和34・35年に日本大学考古学会で発掘調査した、福島県相馬市の横穴墓の調査報告刊行を目指しての基礎調査を行う。本横穴墓は30基以上の7世紀に築造された終末期古墳群であると考えられるが、東北における古墳築造の実態を語る上で、重要な資料である。本年度は文理学部が所蔵している資料の水洗・接合・図面の整理などの基礎的な調査を行い、来年度以降の発掘調査報告書刊行のための基礎的な整理作業を行う。また、コロナ感染症が好転して可能であるならば現地の視察を行っていきたい。
	研究の結果	本年度の研究成果として、文理学部所蔵の資料を、各横穴出土品記録と照合し、ほぼ確定することができた。その上で資料の水洗・註記・接合を行い、一部実測を行った。また、調査図面とその後の関係書類について整理した。さらに大阪府や青森県に関連する資料が保管されている旨の情報が有り、それらを調査した。その結果青森県の所蔵資料については、日本大学考古学会で調査した書類や図面、写真類が存在することが確認でき、これらの資料を譲り受けたが、相馬横穴墓に関するものはなかった。
	研究の考察・反省	本研究は基礎的な調査であり、来年度以降の公表を目指しているが、今年度の基礎的な研究によって、小形の青銅鏡や馬鈴など特異な遺物の出土が確認され、今後の東北横穴墓の研究に大きな研究材料を提出することが期待できる。特に出土土器から7世紀代の東北横穴墓の歴史的な位置づけを考えるうえで基礎資料となる。 ただ、調査した年から時間が経過し、横穴墓の全体図などが未発見、遺物の実測が全体の半分程度であり、コロナ禍のために現地の視察が出来なかった点が反省である。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	研究発表 文理学部資料館「発掘NOW！」展で一部の資料を展示、紹介した。 2022年9月23日～11月6日まで	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	研究成果物 展示図録 『発掘NOW！』2022年9月23日発行 日本大学文理学部資料館	